

## 「高松市官民共創ガイドライン（案）」についてのパブリック・コメント実施結果

本市では、令和8年2月14日から3月13日までの期間、「高松市官民共創ガイドライン（案）」についてのパブリック・コメントを実施しました。

いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を、次のとおりとりまとめましたので、公表いたします。

1 意見総数 2件（1人）

2 いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え

※ 提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化又は文言等の調整をしています。

内容	御意見（要旨）	市の考え方
高松市官民共創ガイドライン(案)について	「たかまつチャレンジフィールド」では、「市内中小企業の育成及び振興を図る」ことには、つながらないように感じる。ガイドラインのやり方ではなく、既存の官民共創のプラットフォームや推進協議会を積極的に活用・周知するように運用面を見直したほうが、市内の中小企業が参画できるやり方になると思う。	<p>本市では、民間事業者と連携するに当たっての基本的な考え方やルール、東京事務所を含む本市施設の活用の方策等について定める必要があるため、「高松市官民共創ガイドライン（案）」を策定し、その中で「たかまつチャレンジフィールド」制度を創設することとしております。</p> <p>官民共創の目的である、より良い市民サービスの提供や、地域経済の活性化につなげるためには、地元企業に、官民共創による課題解決等への理解を深めていただき、参画を促すことに、最優先で取り組まなければならないものと認識していることから、今後におきましては、高松商工会議所等とも連携しながら、官民共創の取組が、地域課題の解決と地元企業の発展に資するものとなるよう、地元企業の参画を、鋭意、働き掛けてまいりたいと存じます。</p>

高松市官民共創ガイドライン(案)について	<p>現在の人員体制では、効果的・効率的な運用が出来ないとされる。もっと、運用面について、見直しを含めた課題解決のテーマと今後のスケジュールについても検討した上で、進めていく必要がある。</p>	<p>本市では、官民共創に関する問い合わせに一元的に対応する「官民共創サポートデスク」を、令和8年度から設置することとしております。</p> <p>今後におきましては、「官民共創サポートデスク」が中心となり、本市の課題解決に共に取り組んでいただける企業等を、市内外を問わず、広く発掘するとともに、企業等からの提案などに、機を逃すことなく、迅速に対応できる全庁体制を構築することで、官民共創の取組を推進してまいりたいと存じます。</p>
----------------------	---	---

※ 個人の特定につながる記載は掲載していません。